教科 国語 学年 第2学年

江戸川区立南小岩第二小学校

単元名	時数	┃ ┃ 単元の到達目標(小単元のねらい)		単元のまとまりの評価規準	
十	一叶蚁	単元の到達日標(小単元の何の)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばと であおう	6	<ul><li>・詩を体を動かしながら声に出して読んだり、日記を書いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。</li></ul>	どに気を付けて音読している。 ・長音, 拗音, 促音, 撥音など の表記, 助詞の「は」,「へ」及	様子に着目して、登場人物の 行動を具体的に想像している。	音読しようとしている。 ・積極的に経験したことから書 くことを見付け、学習の見通し をもって日記を書こうとしてい
声の ものさしを つかおう	3	・いろいろな場面で, 話す声の 大きさを考えて, 気をつけて話 すことの大切さに気づく。	ントによる語の意味の違いなど	・「話すこと・聞くこと」において,伝えたい事柄や相手に応じて,声の大きさや速さなどを工夫している。	・積極的に声の大きさや速さな どを工夫し、学習の見通しを もって話そうとしている。

とうじょう人物の した ことに 気をつけて よもう	13		・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	て、話し手が知らせたいことや 自分が聞きたいことを落とさな	・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもっておもしろいところを紹介しようとしている。
ひろい 公園	2	・質問を落とさないように聞き、 絵から答えを探す。	・共通,相違,事柄の順序など 情報と情報との関係について 理解している。	て、話し手が知らせたいことや	・積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。
漢字の ひろば	4	・漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。 ・絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。		・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	し, 学習の見通しをもって正し

じゅんじょに 気をつけて よ み、つながりを 見つけよう	13	・ありとの関わりに気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。	情報と情報との関係について 理解している。	・「書くこと」において、語と語や 文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
「言葉あそび」を しよう	2	・平仮名四十七文字を全て使った歌のあることを知り、音読する。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		・進んで長く親しまれている言葉がびを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。
かたかなで 書く 言葉	3	・片仮名で書く言葉の種類を知り,正しく使い分ける。	・片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。		・積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。

本で しらべて しょうかいしよ う	8	・図書館で本を探す方法を知り、生き物について調べたことからクイズを作る。	があることを知っている。 ・共通、相違、事柄の順序など	中の重要な語や文を考えて選び出してい。 - 「書くこと」において、経験した	たり確かめたりし, 学習の見通 しをもって「生きものクイズ」を
漢字の ひろば	2	・意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。	・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって漢字の意味のつながりを知ろうとしている。
うれしく なる 言葉	4	にこめられる気持ちについて考	・言葉には, 事物の内容を表す 働きや, 経験したことを伝える 働きがあることに気付いてい る。		・積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。

くりかえしに 気を つけて、とうじょう 人物の 様子を 読もう	15	・繰り返し出てくる言葉に気を つけて読み、繰り返しのあるお 話を作る。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	対する感想を伝え合い、自分 の文章の内容や表現のよいと ころを見付けている。	て, 登場人物の行動を具体的
いなばの しろうさぎ	5	・古くから伝わっている話を, 興味をもって聞き, 場面の様子を想像する。	・昔話や神話・伝承などの読み 聞かせを聞くなどして、我が国 の伝統的な言語文化に親しん でいる。		・進んで昔話や神話・伝承など の読み聞かせを聞き、今まで の学習を生かして昔話や神 話・伝承の書かれた本を探して 読もうとしている。
「かんさつ発見カード」を 書こう	4	・観察して同じところや違うところを見つけ、「かんさつ発見カード」を書く。	・文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ・共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の 思いや考えが明確になるよう に、事柄の順序に沿って簡単 な構成を考えている。	・粘り強く事柄の順序に沿って 簡単な構成を考え、学習の見 通しをもって「かんさつ発見 カード」を書こうとしている。

「言葉のなかまさがしゲーム」を しよう	2	ていることに気づき, 上位語・ 下位語の概念に基づいて, 言 葉を探したりまとめたりすること ができる。	句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにしている。		・積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。
話したいな、聞きたいな、夏休みのこと	5	・夏休みの思い出を、順序を考えて話す。	注意して話している。		・進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みの思い出を話している。
漢字のひろば	4	がら確認し、二つの漢字のつ ながり方を考える。	・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。	ら, 内容のまとまりが分かるよ	で配当されている漢字を書き、

したことや言ったことから、登場人物 の考えを読もう	12	かべながら読み, 登場人物に	・言葉には, 事物の内容を表す 働きや, 経験したことを伝える 働きがあることに気付いてい る。	・「書くこと」において、語と語や 文と文との続き方に注意しなが ら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫してい る。 ・「読むこと」において、場面の 様子に着目して、登場人物の 行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の 内容と自分の体験とを結びけ けて、感想をもっている。	
はんたいのいみの言葉、にたいみの言葉	2	や類義語を集めることができ	・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。		・積極的に言葉には意味による語句のまとまりがあることに 気付こうとし、学習の見通しを もって言葉を分類しようとして いる。
まとまりを考えて書こう	11		の表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	て簡単な構成を考え、今まで

しゃしんをくらべて、考えよう	2			・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の	・積極的に共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
じゅんじょや様子に気をつけて読もう				内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	
	11	<b>ى</b> ه		でで、語り事情の順序を考えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	<b>る様子を説明しよりとしている。</b>
様子をよく見て、くわしく書こう	10	書く。	増し、文章の中で使っていると	文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるよ	

		I	1 + 1		
しを読もう	2			・「読むこと」において、場面の 様子に着目して、登場人物の 行動を具体的に想像している。	・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。
だれが、どのようにかわったか			・語のまとまりや言葉の響きな		
を考えて読もう	12	の世界を広げる。	どに気を付けて音読している。 ・読書に親しみ, いろいろな本があることを知っている。	行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の	に想像し、学習課題に沿って 心に残ったところを文章にまと めようとしている。 ・積極的に読書に親しみ、学習 の見通しをもって本を紹介しよ
しつもんしたり答えたりして、話 し合おう	8		・共通,相違,事柄の順序など 情報と情報との関係について 理解している。		・積極的に互いの話に関心を 持ち、今までの学習を生かして 少人数で話し合おうとしてい る。

みじかい言葉で	5	・心が動いたことを短い言葉で書く。		・「書くこと」において、語と語や 文と文との続き方に注意しなが ら、内容のまとまりが分かるよ うに書き表し方を工夫してい る。	
漢字の広場	4	・漢字の使い方や読み方, 意味などを考えて漢字を正しく使う。 ・絵を見て想像したことをもとに, 1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中	文と文との続き方に注意しなが ら、内容のまとまりが分かるよ	で配当されている漢字を読み,
わかりやすくせつめいするため の、くふうをたしかめよう	19		働きがあることに気付いている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「書くこと」において、話と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	に沿って「しかけ絵本」を作ろう としている。 ・粘り強く語と語や文と文との

しを読もう		<ul><li>イメージの自由な広がりをと</li></ul>	・身近なことを表す語句の景を	・「読むこと」において、文章を	・積極的に文章を読んで感じた
しを記むり	•			読んで感じたことや分かったこ	
	2				
場面や人物の様子をくわしく読もう	11	・様子を詳しく読んで、読み方を工夫して音読発表会を開く。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。		・進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。
むかしのあそび	3		・長く親しまれている言葉遊び を通して、言葉の豊かさに気付 いている。		・進んで長く親しまれている言葉がびを通して、言葉の豊かさに気付き、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。

むかしのあそびをせつめいしよ う	4	・昔の遊びについて,遊び方を 調べて説明する。	注意して話している。	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	・進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして昔の遊びの遊び方を説明しようとしている。
主語とじゅつ語	3	応を考え, 正しく使うことができ る。			・積極的に文の中における主語と述語との関係に気付き、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。
漢字の広場	2	・同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。	・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。		・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。

じゅんじょに気をつけて書こう	13	け、思い出して、順序を考えて書く。	・長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、 間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。	
音や様子をあらわす言葉	3	どを理解し、文の中で使うこと ができる。	・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。		・積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。
漢字の広場	4	<ul> <li>・同じ部分をもつ漢字を集め、 漢字を正しく使う。</li> <li>・絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</li> </ul>	る漢字を読んでいる。 ・前学年や当該学年で配当さ		当されている漢字を読み、学習

場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう	16			・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	・進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。
国語の学習	2	考えたりして,楽しみながら学	て, 話し手が知らせたいことや 自分が聞きたいことを落とさな		とを見付け、今までの学習を生 かして思い出したことや三年生